

平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 USEN

コード番号 4842 URL <http://www.usen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 中村 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 小林 陽介

TEL 03-6823-7015

四半期報告書提出予定日 平成24年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	33,825	△13.6	4,987	52.9	4,470	93.8	1,600	332.5
23年8月期第2四半期	39,168	△48.3	3,261	27.2	2,306	—	370	—

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 1,603百万円 (356.9%) 23年8月期第2四半期 350百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	6.97	—
23年8月期第2四半期	0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	75,134	7,084	9.3
23年8月期	80,533	5,480	6.6

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 6,950百万円 23年8月期 5,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年8月期	—	0.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	△8.7	8,500	11.8	7,500	21.9	3,000	32.6	12.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年8月期2Q	207,148,891 株	23年8月期	207,148,891 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年8月期2Q	1,069,407 株	23年8月期	1,069,329 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期2Q	206,079,530 株	23年8月期2Q	206,870,575 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法について)

平成24年8月期 第2四半期 決算概況資料は、本日(平成24年4月6日)、当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年9月1日至平成24年2月29日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあり、当社事業活動の主要なマーケットである業務店市場に影響を及ぼす動向として、「家計調査」の個別の指標における個人消費は、このところ底堅い動きがみられるなど、消費者マインドは持ち直しているものの、海外景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクや電力供給の制約や原子力災害の影響が依然残っていることから、引き続き留意が必要な状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、引き続き、経営基盤の一層の充実を図り、企業価値の更なる増大を実現すべく、全社的な構造改革に断続的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高33,825百万円（前年同四半期比13.6%減）、営業利益4,987百万円（前年同四半期比52.9%増）、経常利益4,470百万円（前年同四半期比93.8%増）、また、四半期純利益につきましては、1,600百万円（前年同四半期比332.5%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。）及び営業利益は以下のとおりであります。

<音楽配信事業>

音楽配信事業は、創業以来、当社グループ事業の主軸であり、今後においても、その安定的な収益基盤の維持及び強化を図っていく必要があると認識しております。このため、業務店向け・個人向け市場におけるシェア拡大に向けた取り組みとして以下の施策を実施してまいりました。

- ①法人顧客（チェーン店市場）における新たな収益源の構築と顧客数増を目的とした付加価値商材・新サービスなどの提案
- ②生涯収益が高いと見込まれる新規オープン店に対する営業活動への注力
- ③既顧客に対するフォロー営業やCS向上施策による顧客数減少の抑止と長期利用の促進

その結果、音楽配信事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は20,704百万円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益は4,633百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

<業務用システム事業>

業務用システム事業においては、ホテル・病院等の管理システムの開発、自動精算機の製造販売等を㈱アルメックスが行っております。当該事業においては、関連法令の改正や、最近の環境変化を捉え、的確な営業戦略に基づき売上増を図り、利益の最大化に努めてまいります。

その結果、業務用システム事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は7,167百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は625百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

<ICT事業>

ICT事業においては、法人向け光回線事業やアプリケーションサービス事業等を行っております。当該事業においては、各企業様におけるクラウド系サービスやデータセンターサービスに対する需要が高まっていることを踏まえ、以下の施策を実施してまいりました。

- ①光回線顧客拡大のための新サービスの開発・投入
- ②顧客ニーズに応えるサービスラインアップの拡充
- ③豊富なサービスラインアップによるオフィス環境改善に向けた提案営業

その結果、ICT事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は4,379百万円（前年同四半期比25.5%減）、営業利益は380百万円（前年同四半期は428百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業として、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を行っております。

集客支援事業においては、飲食店向け集客支援サービス「グルメGyaO」に加え、クーポン共同購入サービスである「ピタチケット」を展開しております。当該事業においては、音楽配信事業顧客に対する付加価値サービスとしての事業強化を行うとともに、事業利益の最大化を目的とした業務効率化を推進してまいりました。

音楽著作権の管理、開発事業は㈱ユーズミュージックが行っております。当該事業においては、音楽配信事業のより一層の発展に向けた楽曲プロモーション媒体の的確な提案・提供などにより、レコードメーカー顧客との関係の強化に取り組んでまいりました。

その結果、その他事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は1,648百万円（前年同四半期比53.1%減）、営業損失は83百万円（前年同四半期は1,393百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5,398百万円減少し、75,134百万円（前連結会計年度末比6.7%減）となりました。

(資産)

流動資産は、主として現金及び預金が435百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ974百万円減少し、16,111百万円（前連結会計年度末比5.7%減）となりました。

また、固定資産は、建物及び構築物が1,832百万円減少したこと、土地が1,313百万円減少したこと、のれんが740百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,423百万円減少し、59,022百万円（前連結会計年度末比7.0%減）となりました。

(負債)

負債に関しましては、長期借入金が3,631百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7,002百万円減少し、68,050百万円（前連結会計年度末比9.3%減）となりました。

(純資産)

純資産に関しましては、四半期純利益を1,600百万円計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,603百万円増加し、7,084百万円（前連結会計年度末比29.3%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ435百万円減少の6,020百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の収入は5,317百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を1,850百万円、減価償却費及びのれん償却額を3,700百万円、減損損失を1,861百万円計上したこと等により資金が増加した一方、売上債権の増加が322百万円、仕入債務の減少が574百万円、前受金の減少が1,136百万円であったことにより、営業活動による資金の収支が一部減殺されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の支出は1,979百万円（前年同四半期比34.7%減）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得により資金が1,674百万円減少したこと、有形固定資産の除却により資金が490百万円減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の支出は3,773百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済により資金が3,631百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期の業績予想につきましては、平成24年1月11日付「平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想を発表しておりましたが、当第2四半期決算短信及び平成24年4月6日付「業績予想の修正並びに平成24年8月期第2四半期及び期末の配当の状況に関するお知らせ」にて、新たに第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想を開示いたしております。

詳細につきましては、平成24年4月6日付「業績予想の修正並びに平成24年8月期第2四半期及び期末の配当の状況に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,463	6,028
受取手形及び売掛金	4,904	5,227
商品及び製品	528	385
仕掛品	206	215
原材料及び貯蔵品	1,243	1,302
その他	4,231	3,384
貸倒引当金	△492	△432
流動資産合計	17,086	16,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,741	19,909
土地	26,387	25,073
その他（純額）	3,143	3,066
有形固定資産合計	51,272	48,050
無形固定資産		
のれん	6,426	5,685
その他	2,951	2,566
無形固定資産合計	9,377	8,252
投資その他の資産		
その他	8,237	8,158
貸倒引当金	△5,440	△5,439
投資その他の資産合計	2,797	2,719
固定資産合計	63,446	59,022
資産合計	80,533	75,134
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,114	4,665
1年内返済予定の長期借入金	4,040	4,008
その他	12,757	9,993
流動負債合計	21,911	18,666
固定負債		
長期借入金	49,070	45,471
退職給付引当金	3,359	3,204
その他	710	707
固定負債合計	53,141	49,383
負債合計	75,052	68,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,116	66,116
資本剰余金	62,381	62,381
利益剰余金	△122,534	△120,934
自己株式	△531	△531
株主資本合計	5,431	7,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△84	△81
その他の包括利益累計額合計	△84	△81
新株予約権	133	133
純資産合計	5,480	7,084
負債純資産合計	80,533	75,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	39,168	33,825
売上原価	18,492	14,488
売上総利益	20,675	19,337
販売費及び一般管理費	17,413	14,349
営業利益	3,261	4,987
営業外収益		
持分法による投資利益	33	37
その他	197	114
営業外収益合計	231	152
営業外費用		
支払利息	1,031	570
その他	155	98
営業外費用合計	1,187	669
経常利益	2,306	4,470
特別利益		
投資有価証券売却益	245	—
固定資産売却益	103	42
事業改革損失引当金戻入益	407	—
その他	271	—
特別利益合計	1,028	42
特別損失		
固定資産除却損	825	801
減損損失	506	1,861
その他	1,547	—
特別損失合計	2,880	2,663
税金等調整前四半期純利益	454	1,850
法人税、住民税及び事業税	69	133
法人税等調整額	42	115
法人税等合計	112	249
少数株主損益調整前四半期純利益	341	1,600
少数株主損失(△)	△28	—
四半期純利益	370	1,600

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	341	1,600
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	9	3
四半期包括利益	350	1,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379	1,603
少数株主に係る四半期包括利益	△28	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	454	1,850
減価償却費	3,218	2,960
減損損失	506	1,861
のれん償却額	664	740
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△79	△60
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△245	△154
支払利息	1,031	570
持分法による投資損益 (△は益)	△33	△37
投資有価証券売却損益 (△は益)	△245	—
固定資産売却損益 (△は益)	△103	△42
固定資産除却損	825	801
売上債権の増減額 (△は増加)	629	△322
仕入債務の増減額 (△は減少)	△447	△574
前受金の増減額 (△は減少)	△1,092	△1,136
たな卸資産の増減額 (△は増加)	327	77
その他	1,136	△396
小計	6,545	6,135
利息及び配当金の受取額	2	5
利息の支払額	△1,025	△565
災害損失の支払額	—	△105
法人税等の支払額	△154	△152
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,367	5,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,953	△1,674
有形固定資産の売却による収入	140	154
有形固定資産の除却による支出	△649	△490
投資有価証券の売却による収入	281	7
差入保証金の増減額 (△は増加)	1,337	△8
吸収分割による支出	△1,917	—
その他	△269	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,031	△1,979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
制限付預金の引出による純増減額 (△は減少)	3,383	△0
長期借入金の返済による支出	△5,936	△3,631
その他	△919	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,471	△3,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,135	△435
現金及び現金同等物の期首残高	7,024	6,455
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	125	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,014	6,020

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	22,018	7,773	5,876	35,668	3,499	39,168	—	39,168
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	55	69	1	125	18	144	△ 144	—
計	22,073	7,843	5,877	35,794	3,518	39,312	△ 144	39,168
セグメント利益 又は損失(△)	4,907	618	△ 428	5,096	△ 1,393	3,703	△ 441	3,261

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業、テレビ向け有料映像配信サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△441百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	20,670	7,149	4,378	32,198	1,627	33,825	—	33,825
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34	18	0	52	21	74	△ 74	—
計	20,704	7,167	4,379	32,251	1,648	33,900	△ 74	33,825
セグメント利益 又は損失 (△)	4,633	625	380	5,639	△ 83	5,556	△ 568	4,987

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△568百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「その他」において、売却の意思決定をした保有不動産等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,859百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。